

## 日本短角種産肉能力検定（直接法）成績

（畜試 肉牛部）

### 1. 背景とねらい

日本短角種の産肉能力等経済性の向上を図るため計画交配により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用により集団的な育種改良を推進することを目的とした日本短角種集団育種推進事業が展開されている。

同事業で実施した平成5年度直接検定成績を改良指導のための参考に供する。

### 2. 技術の内容

1) 本年度検定頭数は第1期20頭、第2期14頭の計34頭であった。検定終了後の供用頭数は14頭で、供用率41.2%であった。

2) 検定牛の1日当たり平均増体量は、第1期1.15kg、第2期1.25kgであった。

3) 選抜指数値、検定成績、血統、体型等を比較検討し、平成8年度間接検定実施予定牛5頭（松錦、若幸、幸波、幸風、杉波）を選抜した。

〔選抜差：D G 0.16kg、皮下脂肪厚（8部位合計）-0.4cm、選抜指数値4.45〕

### 3. 指導上の留意事項

#### 1) 直接検定方法

##### 期 間

第1期 単房 平成5年10月26日～平成6年3月15日（140日）

第2期 群房 平成5年11月9日～平成6年3月29日（140日）

##### 飼 料

濃厚飼料 産肉能力検定飼料（DM 87.6% DCP 10.5% TDN 73.0%）

メタボリックボディーサイズ当り 6.3%制限給与

粗飼料 乾草飽食（DM 86.0% DCP 4.5% TDN 50.3%）

##### 飼養方法等

単飼 2時間/日運動場で運動

群飼（4～5頭1群） 6時間/日房付設パドックで運動

#### 2) 検定合格牛

同期の検定雄牛について、選抜指数値による総合判定を行い、上位1/2の優良なものとしている。

### 3) 選抜指数値の求め方

次の選抜指数式により求める。

$$\text{選抜指数値 } I = 21.749 \times (DG) - 0.254 \times (\text{皮下脂肪厚}) + 10$$

皮下脂肪厚：皮下脂肪厚8箇所の合計（超音波肉質診断装置で測定）

### 4. 試験成績の概要

#### 供用牛の概要

検定No.	名号	父	母方 祖父	産地	DG (kg)	皮下 脂肪厚 (mm)	選抜 指数値	合 格	間 検
1	松 錦	松 春	清 房	岩泉町	1.29	79	17.99	○	○
6	梅 福	琴頼1019	正福52	浄法寺町	1.20	86	14.25	○	
9	滝沢93013	山 久	崎 清	滝沢村	1.00	87	9.65		
11	幸 春	松 春	波 清	岩泉町	1.20	85	14.51	○	
16	若 幸	幸玉1742	大 幸	山形村	1.33	85	17.34	○	○
17	宝 幸	幸 花	高 波	川井村	1.32	94	14.83	○	
21	鈴 波	昭波 89	山 松	盛岡市	1.35	90	16.50	○	
22	若 桜	若 花	崎 宝	川井村	1.35	92	15.99	○	
23	幸 波	幸 花	高 波	川井村	1.43	92	17.73	○	○
24	忠 姫	琴 久	川 久	玉山村	1.33	97	14.29	○	
27	琴 波	琴 久	高 波	玉山村	1.11	82	13.31		
29	波 栄	松 月 山	善 富	玉山村	1.22	82	15.71	○	
33	幸 風	幸 花	大 幸	山形村	1.37	82	18.97	○	○
34	杉 波	昭波 89	杉 富	盛岡市	1.31	82	17.66	○	○
供用牛の平均					1.27	87	15.62		